

製品名: TCP-1 ε ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18745**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	67kDa

抗原情報

遺伝子名	CCT5
別名	CCT5; CCTE; KIAA0098; T-complex protein 1 subunit epsilon; TCP-1-epsilon; CCT-epsilon
遺伝子 ID	22948.0
SwissProt ID	P48643
免疫原	抗血清はヒト CCT5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

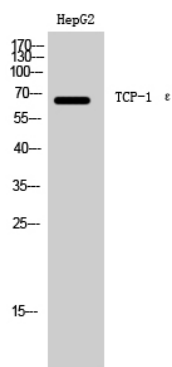
この遺伝子によってコードされるタンパク質は分子シャペロンであり、TCP1 リング複合体 (TRiC) としても知られるシャペロニン含有 TCP1 複合体 (CCT) のメンバーです。この複合体は、それぞれ 8 つの異なるタンパク質を含む 2 つの同一のリングが積み重なった

構造をしています。折り畳まれていないポリペプチドは複合体の中央の空洞に入り、ATP 依存的に折り畳まれます。この複合体は、アクチンやチューブリンを含む様々なタンパク質を折り畳みます。この遺伝子の変異は、遺伝性痙性対麻痺性感覚・自律神経性ニューロパチー (HSNSP) を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する偽遺伝子は、5 番染色体と 13 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2015 年 4 月]この疾患は、痙性対麻痺と進行性遠位感覚神経障害を特徴とし、上肢および下肢の切断性潰瘍を引き起こす。機能: 分子シャペロン。ATP 加水分解によるタンパク質のフォールディングを支援する。in vitro 試験では、アクチンおよびチューブリンのフォールディングに関与することが知られている。類似性: TCP-1 シャペロニンファミリーに属する。サブユニット: 直径 12~16nm の 2 つのリングが積層した約 850~900kDa のヘテロオリゴマー複合体。PACRG と相互作用する。、

研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格 / ECM; 細胞骨格; マイクロフィラメント; アクチンなど; アクチンの集合; チューブリン; タンパク質輸送; シャペロン; その他のシャペロン

画像データ



TCP-1 ε ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析